



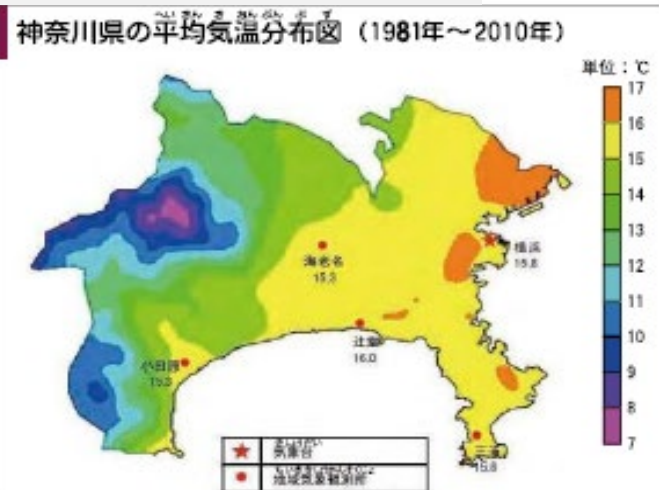
神奈川県地域気候変動適応計画 「神奈川県地球温暖化対策計画」の改定について

2025年7月30日

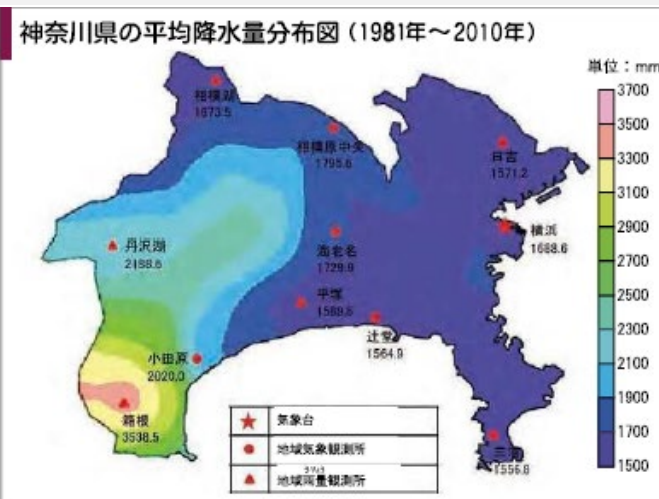
環境農政局 脱炭素戦略本部室

神奈川県はどんなところ？

あたたかな気候



中央や東は比較的気温が高い
西の山地の降水量は他地域の約2倍



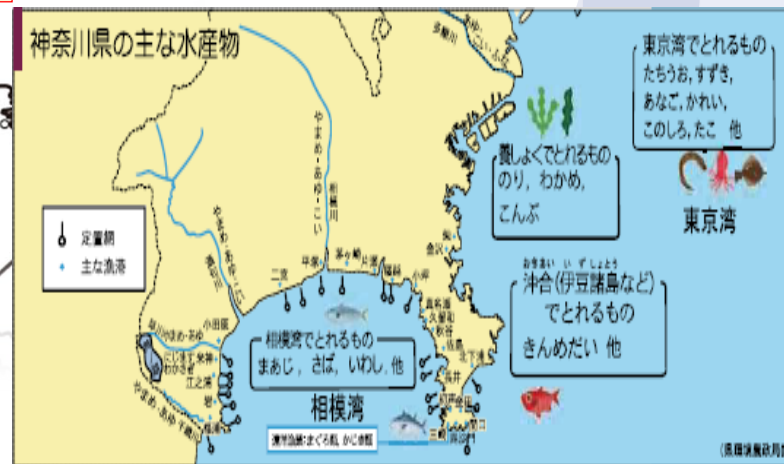
人口：9,223,852人(令和7年6月現在)

面積: 2,416.55km²(令和6年10月現在)

さまざまな農水産物



小田原のみかん、足柄茶の生産も盛ん
漁業生産量は約2.4万トン

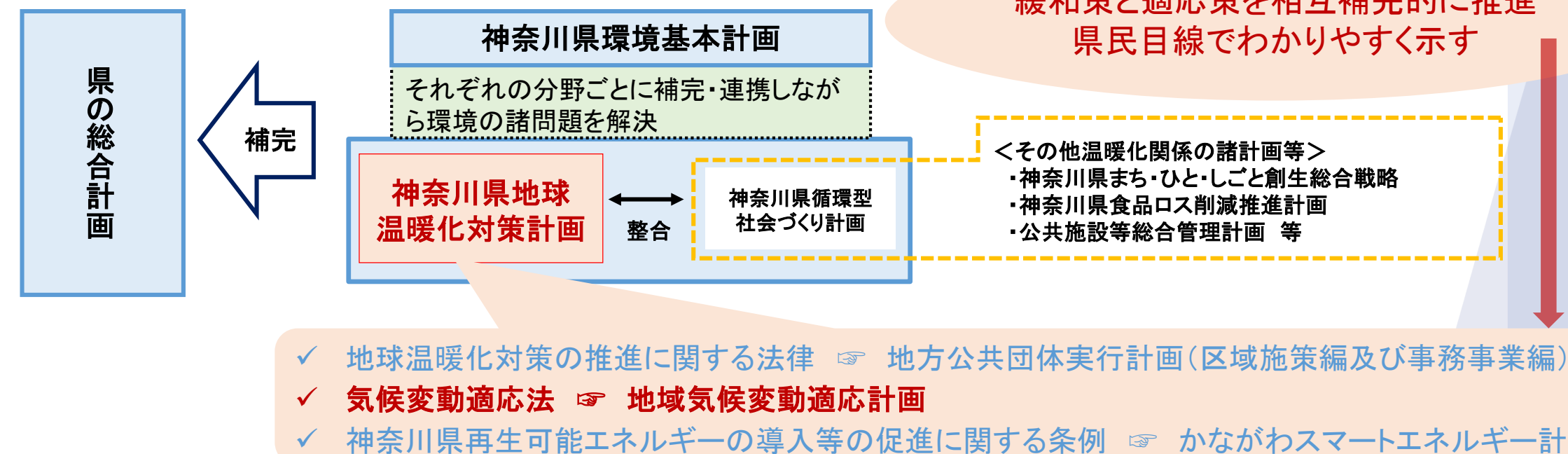


適応計画改定の背景・計画の位置付け（計画の統合）

計画改定(R6. 3)の背景

- 国気候変動適応計画の改定、国気候変動影響評価の見直し、適応法改正（令和5年5月12日公布）、神奈川県水防災戦略の策定・改定など、神奈川県における影響やその対策を勘案した必要な見直しと施策の追加等を行い、計画改定した。

計画の位置付け(計画の統合)



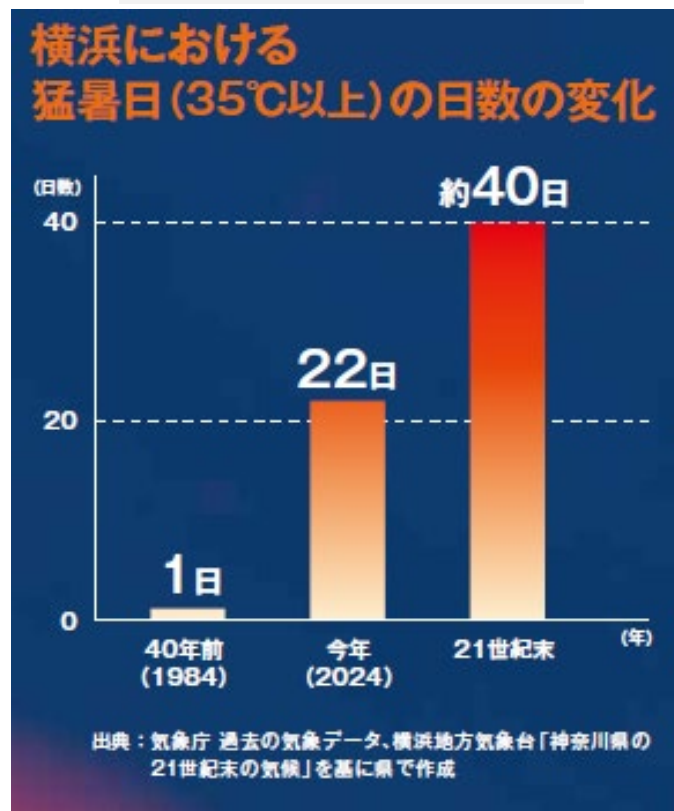
適応策の必要性、県が取り組む分野

(出典)2024.12「県のたより」を基に脱炭素戦略本部室で作成

大雨や台風の激甚化



猛暑日の増加



藻場消失・農作物への影響



- 様々な気候変動による影響に対して、今のいのちを守るため「適応策」を計画的に進めることが必要
- 国が取りまとめた「気候変動影響評価報告書」を基に本県における気候変動の影響を整理し、7つの分野と分野横断的な取組で、適応策に取り組む。

県が取り組む分野別の主な対策

分野	主な対策
農業・林業・水産業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 農業に関する対策の推進(農産物の高温障害対策) ■ 林業に関する対策の推進(きのこ類の病害菌対策) ■ 水産業に関する対策の推進(海水温上昇による磯焼け対策)
水環境・水資源	<ul style="list-style-type: none"> ■ 水環境に関する対策の推進(海水温上昇による貧酸素水塊対策) ■ 水資源に関する対策の推進(降雨量の変動による渇水対策)
自然生態系	<ul style="list-style-type: none"> ■ 生態系における分布域・ライフサイクル等の変化に関する対策の推進
自然災害	<ul style="list-style-type: none"> ■ 水防災戦略の推進(洪水、土砂崩れ、高潮、暴風等に関する災害対策の推進)
健康	<ul style="list-style-type: none"> ■ 暑熱・熱中症対策の推進
産業・経済活動	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業者の事業継続計画(BCP)策定の推進 ■ 観光産業に関する対策の推進(観光客の安心安全を踏まえた観光客誘致)
県民生活・都市生活	<ul style="list-style-type: none"> ■ 水道・交通等のインフラに関する対策の推進 ■ 災害廃棄物対策の推進
分野横断的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■ 気候変動や適応に関する情報収集・発信 ■ 学校等における環境教育の推進

県が取り組む分野別の対策例



熱中症のリスクに対して

健康分野

熱中症予防のための5つのポイント

POINT 01 水分と電解質をこまめに補給

POINT 02 十分な睡眠とバランスの良い食事をする

POINT 03 外出時は日差しを避ける

POINT 04 室内を涼しくする(換気も忘れずに)

POINT 05 暑さ指数(WBGT)を確認

神奈川県 健康増進課 熱中症 | Q

自然災害の発生に備えるために

自然災害分野

自然災害(風水害)から身を守るためのポイント

POINT 01 ハザードマップで危険箇所を確認しよう。自宅や自分がよく行く場所の災害リスクや連絡先・経路が確認できるよ。

POINT 02 雨量や河川の水位、土砂災害等に関する情報を確認しよう。避難の準備や開始のタイミングを決める目安となるよ。

POINT 03 「マイ・タイムライン」を作成してみよう。専用シート・WEB・アプリで作成できるよ。

神奈川県 マイ・タイムライン | Q

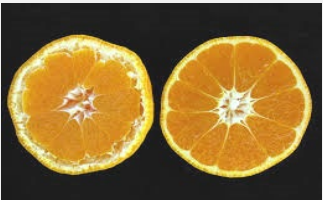
県が取り組む分野別の対策例



農業

影響

- 高温によるイチゴの収穫時期の遅れ、ミカンの浮皮の発生 等



ミカンの浮皮



対応

- イチゴ栽培での冷却技術の確立
- ミカンの浮皮軽減対策 等

水産業

影響

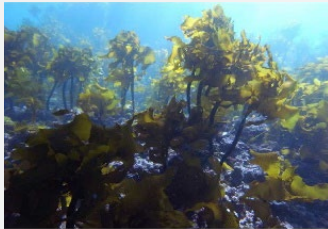
- 暖海性の魚類の増加
- 「磯焼け」(※)の発生

※暖海性の魚类等(アイゴ等)による海藻類の食害



対応

- 「早熟カジメ」を用いた藻場の再生
- 食害の原因生物の防除策の検討、食用への活用

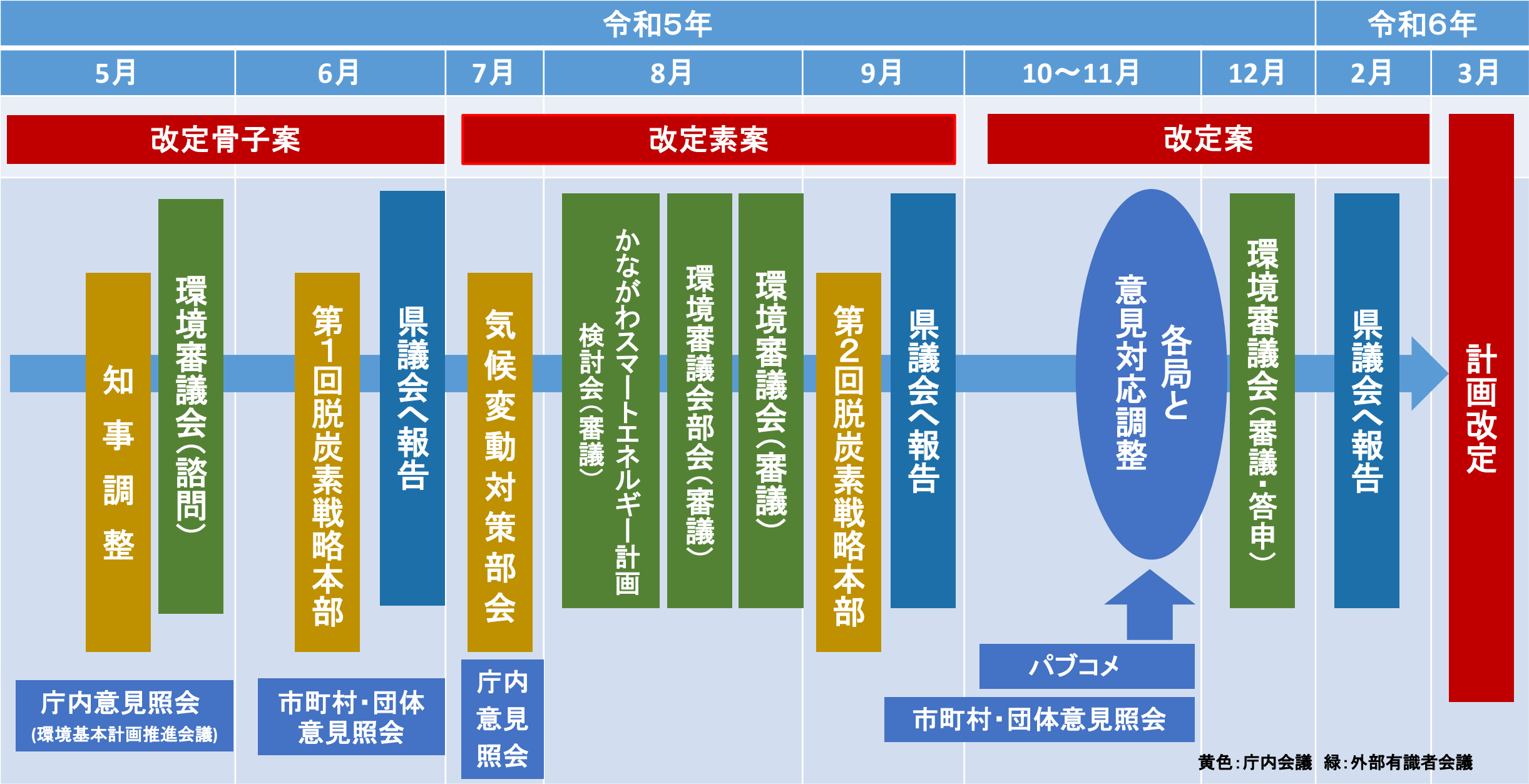


健全な藻場の様子



キャベツを食べるムラサキウニ

計画改定の作業スケジュール



計画改定に係る K P I の設定

- 本計画の進捗評価を行うため、分野ごとに施策の実施に関する目標(KPI)を新たに設定。
- 各目標は、毎年度現況値を把握、個々の指標を評価し、進捗状況を総合的に評価。

表 3 - 1 分野ごとの施策の実施に関する目標

分 野	K P I	基準値	目標値※1	分 野	K P I	基準値	目標値※1
農業・林業・水産業	スマート技術の導入経営体数（耕種）※2	227経営体 【2022年度】	387経営体 【2027年度】	自然災害・沿岸域	ビッグレスキュー・かながわ消防などの訓練参加人数	1,835人 【2023年度】	2,300人 【2027年度】
	スマート技術の導入経営体数（畜産）※2	50経営体 【2022年度】	64経営体 【2027年度】	健康	年間の熱中症死亡者数（5年移動平均数）	93人 【2022年度】	半減 【2030年度】
	藻場の再生面積	—	51ha 【2027年度】		P M2.5の有効測定局のうち環境基準を達成した測定局の割合	100% 【2022年度】	100% 【2030年度】
水環境・水資源	水源林の整備（累計）	49,717ha 【2022年度】	54,000ha 【2026年度】	産業・経済活動	中小企業の事業継続計画（B C P）の策定割合	12.0% 【2022年度】	20% 【2025年度】
自然生態系	丹沢ブナ林の大気・気象観測	4 地点/年 【2022年度】	4 地点/年 【2026年度】	県民生活・都市生活	下水道の耐水化を行った施設数（累計）	1 施設 【2022年度】	3 施設 【2026年度】
	丹沢ブナ林の衰退状況モニタリング	5 調査区/年 【2022年度】	5 調査区/年 【2026年度】		道路の防災対策（土砂崩落対策等）の整備箇所数（累計）	—	20箇所 【2025年度】
	藻場の再生面積【再掲】	—	51ha 【2027年度】	分野横断的な取組	気候変動適応に関する関心度	89.2% 【2023年度】	100% 【2030年度】
自然災害・沿岸域	遊水地や流路のボトルネック箇所等の整備（累計）	—	6 箇所 【2030年度】 （暫定供用も含む）				
	土砂災害防止施設の整備箇所数（累計）	—	104箇所 【2027年度】				

KPI設定に係る調整（庁内所属との調整）

- そもそもどんなKPIを設定したらよいのかわからない
- 庁内所属に目標設定の了解を得る調整は困難

大まかに次の流れで庁内調整しました

1

情報収集する

- ・国や他自治体（東京都等）の適応計画のKPIを調べる
- ・同様のKPIが庁内の計画などでないか探す

2

設定しやすい候補を選ぶ

- ・既存の計画や予算資料等で使用しているKPI
- ・毎年度、進捗管理ができるもの

3

庁内所属へヒアリング

- （ヒアリング項目例）
- ・掲載されている計画等
 - ・計画の始期と終期
 - ・数値の算出方法、時期
 - ・数値の目標年度※ 等
- 最終的にKPIの掲載について了解を得る

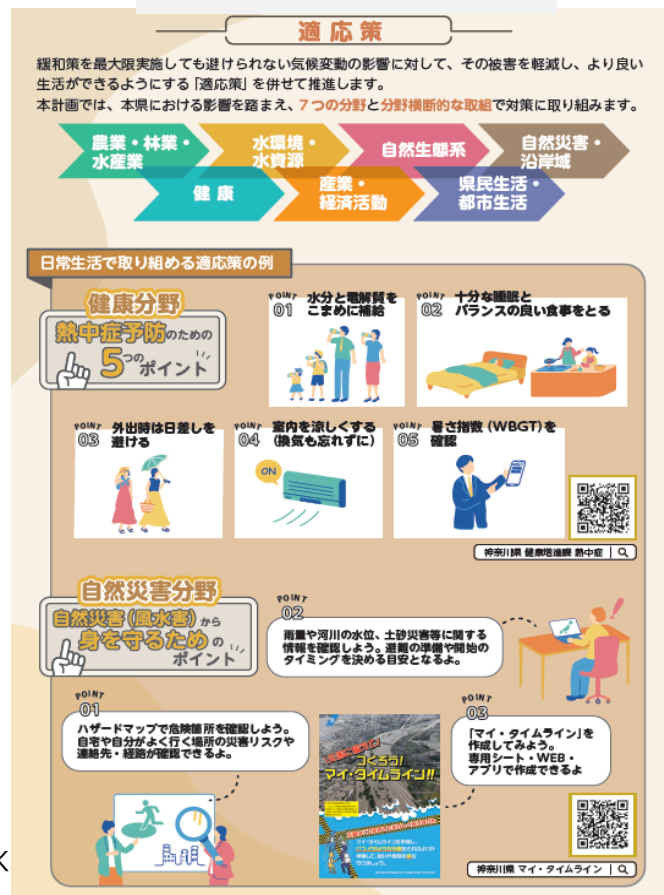
・ヒアリング先の取組が適応策に該当することをまずは理解いただくことが必要

・すべての分野でKPIを設定するため、多岐に渡る所属へヒアリングした

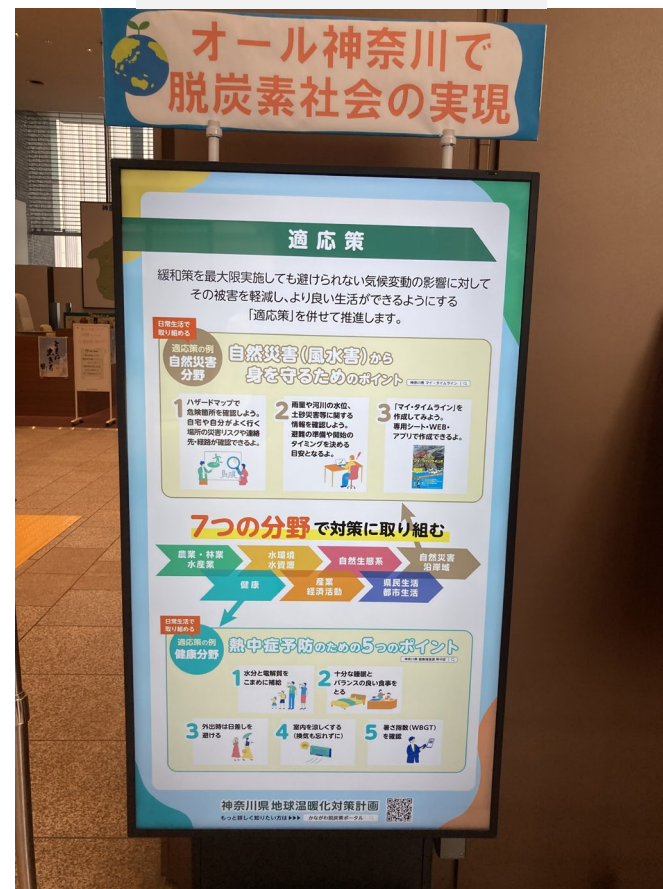
適応策をわかりやすく伝える工夫（パンフレット・サイネージ）

- 適応策の内容をわかりやすく伝えるため、計画の概要（パンフレット）とデジタルサイネージ用動画を委託作成。これらのほか国立環境研究所のPR素材なども活用して、庁舎内、各市町村窓口、駅周辺などで周知を実施。

計画パンフレット




サイネージ動画



国立環境研究所PR素材





ご清聴ありがとうございました